古巣への思い

金屋中・3　原　咲太郎

八月二十二日
衝撃的なことが起きた
僕の古巣
二年生の二学期まで所属していた
浜松開誠館中学校サッカー部
全国中学校体育大会優勝
僕が抜けたチームがそれをやってのけた

決勝は
静岡県大会決勝で負け
東海大会決勝で勝利した
この夏一勝一敗の静岡学園との再戦だ
この勝負で
静岡学園との直接対決にも
決着がつく
おそらく激しい戦いになると思った

僕はネットニュースで結果を見た
四対一
あっさりと開誠館が勝利した
開誠館はこれで
十八年ぶり二度目の優勝だ
サッカー協会が選ぶ
大会ベストイレブンの中には
見知った顔が五つ
どれも昔のチームメイトたちだ
中には決勝で二得点を決めた
フォワードのライバルもいた

一つ上の代が抜けて
いちばん最初のミーティングで決めた
自分たちの共通の目標
「自分たちの代で全国優勝」を
こいつらは本当にやり遂げたのだと
少しうらやましい気持ちになった
正直に言うと
昔あんなに競い合っていた仲間たちに
負けた気がして悔しかった

僕もやりたかった
僕も開誠館にいれば
全国優勝できたのかも
とも思った

けれど
最終的に金屋中への転校は
僕自身が決めたものだ

だから
僕もかつての仲間に負けないよう
必死で努力し
僕が望んだ結果を
つかみ取れるよう頑張りたい

そのために
僕は今日も
サッカーと勉強の両立という
自分で決め選んだ道を
突き進んでいこうと思う

4・12